

水害から命を守る

☎防災安全課防災係 ☎72-2111

毎年全国各地で豪雨災害が発生しており、小郡市でも平成30年から毎年のように浸水などの被害が発生しています。水害は危険な場所から避難することで、自分や家族の命を守ることができます。

これからの梅雨時期に備えて、事前に確認するポイントを紹介します。

1 ハザードマップ



ハザードマップとは、河川が決壊・氾濫した場合に浸水が想定される区域や土砂災害が発生する可能性が高い場所を示したものです。
また、浸水の際に水面から地面までの深さ(浸水深)を色別で表しています。
住んでいる場所や普段からよく通う場所が「危険なのか」「安全なのか」を確認しましょう。

POINT
ポイント!

着色がある場合、浸水深(深さ)を確認し、避難する必要があるのか確認しましょう。



2 浸水深(深さ)で判断

水平避難

今いる危険な場所から安全な場所へ避難する方法。

非常持出袋の準備をしておきましょう。

(水、食料、衣類、お金、常備薬など)



5.0~10.0m未満 2階屋根以上が水没
3.0~ 5.0m未満 2階部分が水没
0.5~ 3.0m未満 1階部分が水没
避難が困難となる
0.5未満 床下が浸水

垂直避難

今いる危険な場所から安全な位置(高い場所)に避難する方法。

備蓄品の準備をしておきましょう。電気・ガス・水道などが止まった場合に備え、自宅の2階に食料や水などを備蓄しておきましょう。

POINT
ポイント!

自宅やよく通う場所の状況から、「水平」と「垂直」のどちらの避難が必要なのか確認しましょう。
安全な場所にいる場合は避難する必要はありません。

3

避難のタイミング

市は、河川の水位や気象情報などから、危険な場所に対して避難情報を発令します。発令された情報かどのような内容なのか確認しましょう。

	警戒レベル	避難情報
市町村発令	5	緊急安全確保 いのちの危険！直ちに安全確保
	(警戒レベル4までに必ず避難！)	
	4	避難指示 危険な場所から全員避難
気象庁発表	3	高齢者等避難 危険な場所から高齢者は避難
	2	大雨・洪水・高潮注意報 避難行動の確認
	1	早期注意情報 心構えを高める

※気象情報や災害予測によって、開設する避難所を変更する場合があります



ポイント！

避難先は避難所だけではありません。安全な場所(親戚や知人宅、宿泊施設など)に避難することも考えておきましょう。



4

情報収集

● 防災行政無線

市内60か所に設置している屋外スピーカーから災害情報などをお知らせします。



聞こえなかった場合は、放送内容が電話で確認できます。また、市ホームページにも掲載しています。

【電話による自動応答システム】
☎ 050・5212・5256

● 緊急速報メール(エリアメール)

緊急性が高い災害情報を携帯電話に配信します。

● 防災メールまもるくん

事前に登録したメールアドレスに災害情報などを配信します。

※アプリもあります

● Yahoo! JAPAN 防災速報アプリ

アプリを通じて、ヤフーや小郡市から緊急情報を配信します。



ポイント！

どこから情報入手するのかわからず決めずにおきましょう。



大雨時の下水道への排水抑制のお願い

☎ 下水道課工務係 ☎ 72-2111

大雨時は雨水の流れ込みにより、下水が逆流しトイレや浴室の排水口などから水が噴き出ることがあります。下水が逆流しないよう洗濯や風呂などの大量の水は、雨が収まってしばらくしてから排水を行うようご協力をお願いします。

“水のう”で下水の逆流対策

「ゴポゴポ」と異常な音が聞こえてきたら危険信号。水のうを設置すると水が噴き出のを抑えることができます。

● 水のうの作り方

大きめ(45リットル程度)のビニール袋を二重に重ね、半分程度(20リットル程度)の水を入れます。中の空気を抜きながら、口をしっかりと縛ったら完成です。

